

「最近の機械貿易動向(12月)～機械輸出額26ヶ月ぶり対前年同月比増加～」

日本機械輸出組合 2021.2.17

・2020年12月の機械輸出額は4兆2,433億円、対前年同月比0.8%増と、26ヶ月ぶりに対前年同月比増加した。為替・営業日要因が1.9%の減少寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は2.8%増となった。2月17日発表の貿易統計速報による簡易計算では、2021年1月の機械輸出は4.3%増であった。

・機械輸出の対前年同月比の減少幅が11月に広がり、日本からの機械輸出環境が一時悪化したが、12月には機械輸出額の対前年同月比が増加となり、機械輸出環境が再び改善に転じた。

I 要約

1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:6兆7,062億円(対前年同月比 [以下同じ] 2.0%増、25ヶ月ぶり対前年同月比増加)
- ② 全商品輸入額:5兆9,566億円(11.6%減、20ヶ月連続対前年同月比減少)
- ③ 貿易収支:7,496億円の黒字

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:4兆2,433億円(0.8%増、26ヶ月ぶり対前年同月比増加)
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:2.8%増
- ② 機械輸入額:2兆1,101億円(2.9%減、2ヶ月ぶりに対前年同月比減少)

(2) 為替・営業日動向

2020年12月に1.9%の減少要因、2021年1月に7.7%の増加要因、2月に10.8%の減少要因。
(2021年2月の為替要因は2月16日の東京市場のレートにより、仮計算)

(3) 地域別動向

- ① 中国、韓国・台湾向けを除く4地域向けで対前年同月比減少(図表4、5)
- ② 北米向け:0.6%減、4ヶ月ぶり対前年同月比減少(図表4、5)
- ③ EU27向け:2.1%減、15ヶ月連続対前年同月比減少(図表4、5)
- ④ 中国向け:4.5%増、2ヶ月ぶりに対前年同月比増加(図表4、5)
- ⑤ 韓国・台湾向け:11.1%増、2ヶ月ぶり対前年同月比増加(図表4、5、6、7)
- ⑥ ASEAN・南アジア向け:0.1%減、24ヶ月連続対前年同月比減少(図表4、5、6、8、9)
- ⑦ その他地域向け:4.7%減、11ヶ月連続対前年同月比減少(図表4、5、10)

(4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中電子デバイス等13業種が対前年同月比増加。

(5) 機種別動向(図表12、13)

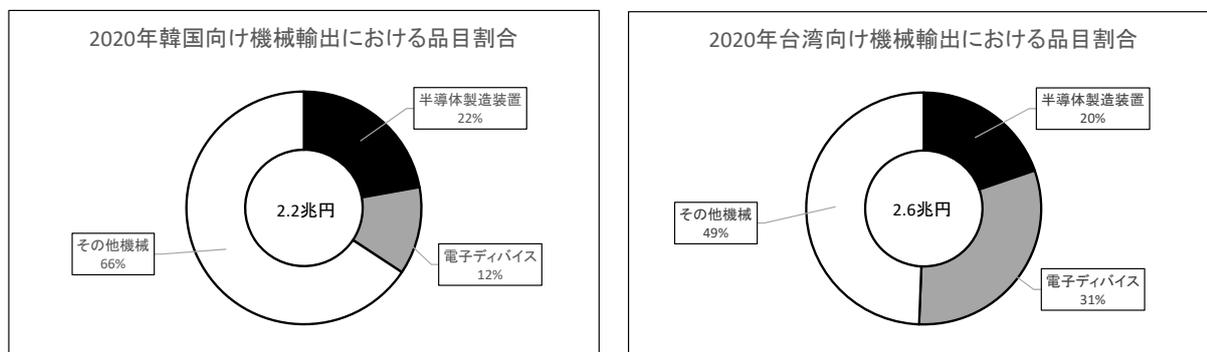
- ① 鉄道車両(その他地域向け中心)、産業用ロボット(中国、北米向け中心)、建設機械(北米、その他地域、EU向け中心)、写真機の部分品・附属品(EU、北米、中国向け中心)、その他の重電気機器・部分品(中国、ASEAN・南アジア向け中心)、電気・電子計測器(中国、韓国・台湾向け中心)等が大きく増加
- ② 電動機(5ヶ月連続上位)、電池(3ヶ月連続上位)等も好調に輸出
- ③ 航空機部品、発電機、原動力機械、金属加工機械等が対前年同月比で大きく減少

(6) 機械輸入動向(図表14)

機械輸入額上位12機種のうち、電子計算機、携帯電話、乗用車等7機種が対前年同月比で増加

II トピックス

2020年の機械類の韓国向け輸出と台湾向け輸出は、それぞれ2.2兆円と2.6兆円とほぼ同じ規模となっている。また、韓国・台湾ともに輸出において、半導体等の製造装置と電子デバイスが大きな割合を占めている。



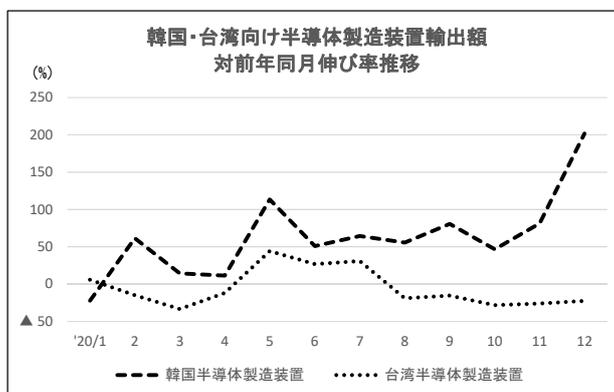
その中にあり、2020年の機械類の輸出額において、韓国向けが前年比3.6%増となっていることに対し、台湾向けは1.9%増にとどまっており、半導体製造装置の輸出額が、韓国向けが前年比53.5%増加している一方で、台湾向けは前年比11.1%減となっている。2020年の半導体製造装置の対前年同月比においても、2月以降は韓国向けの伸び率が台湾向けの伸び率を上回っており、両国においては、半導体製造装置の輸出動向が機械類の輸出動向に大きな影響を与えている。特にサムスン電子、SKハイニクス(以上韓国)、TSMC、UMC(以上台湾)等のグローバルで上位の半導体メーカーが両国には存在し、それらの動向が日本からの輸出動向を左右しているということが言えよう。

機械輸出額合計 (単位:十億円)

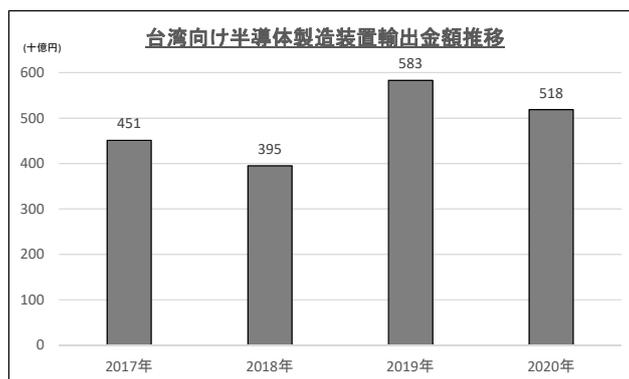
	2019年	2020年	伸び率(%)
韓国向け	2,119.1	2,195.7	3.6
台湾向け	2,584.0	2,632.6	1.9

半導体製造装置輸出額合計 (単位:十億円)

	2019年	2020年	伸び率(%)
韓国向け	316.8	486.3	53.5
台湾向け	583.0	518.5	-11.1



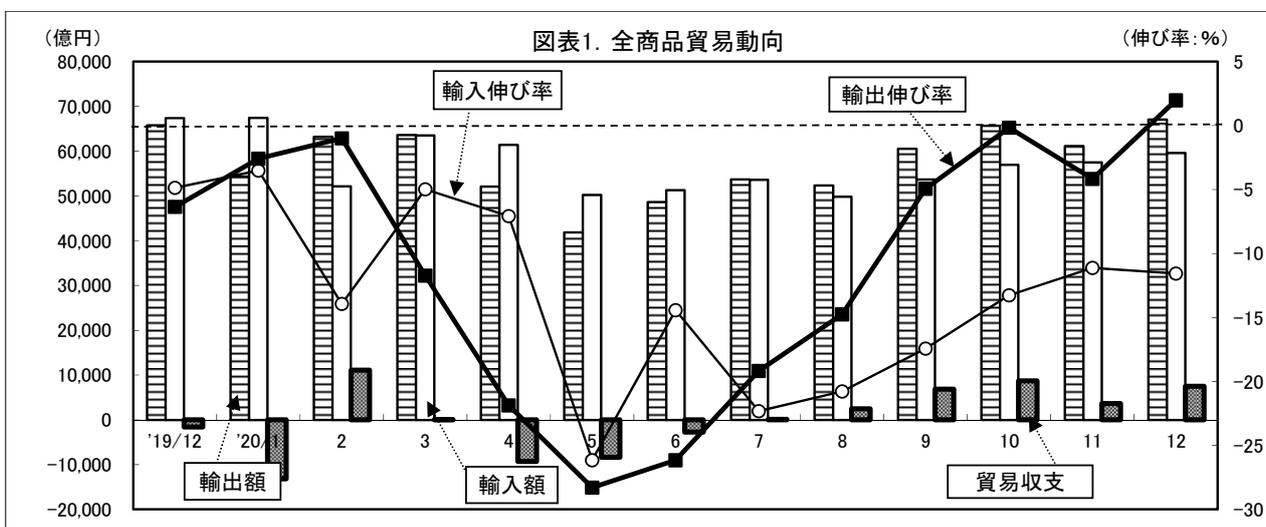
* 台湾向けの半導体製造装置の輸出額については、2020年は2017年、2018年と比較して増加しており、高い水準を維持していることから、2020年に前年比で減少しているのは、2019年に大きく伸びたことの影響と考えることができる。



Ⅲ 個別動向

1. 全商品貿易動向～輸出は 25 ヶ月ぶりに対前年同期比で増加、輸入は 20 ヶ月連続で減少～

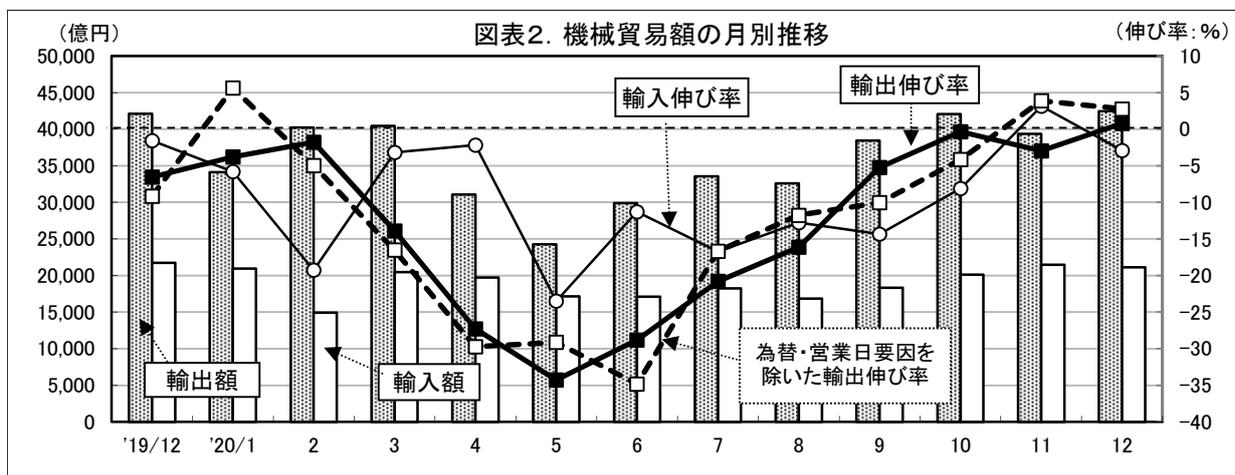
- 2020年12月の全商品輸出額は**6兆7,062億円**、前年同月比(以下同じ)**2.0%増**と25ヶ月ぶりに対前年同月比増加した(11月4.2%減)。これは、約21%を占める輸送用機器(2.7%減)が減少したものの、約20%の一般機械(0.3%増)をはじめ、約19%の電気機器(6.6%増)、約12%のプラスチック等化学製品(10.0%増)等が増加したためである。
- 輸入額は**5兆9,566億円**、**11.6%減**と20ヶ月連続で対前年同月比減少した(11月11.1%減)。これは、全輸入額の約18%を占める電気機器(0.2%増)や11%の一般機械(1.3%増)が増加したものの、約17%の原粗油等鉱物性燃料(36.3%減)、約10%の医薬品等化学製品(7.7%減)や約9%の原料別製品(1.0%減)等が減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、6ヶ月連続で黒字(7,496億円、11月は3,661億円の黒字)となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は 26 ヶ月ぶりに前年同月比増加、輸入は 2 ヶ月ぶりに対前年同月比減少～

- 全商品輸出額の約63%を占める12月の機械輸出額は**4兆2,433億円**、**0.8%増**と26ヶ月ぶりに対前年同月比で増加した(11月3.0%減)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率は2.8%増**であった。
- 一方、全商品輸入額の約35%を占める機械輸入額は、**2兆1,101億円**、**2.9%減**と2ヶ月ぶりに対前年同月比減少した(11月3.1%増)。

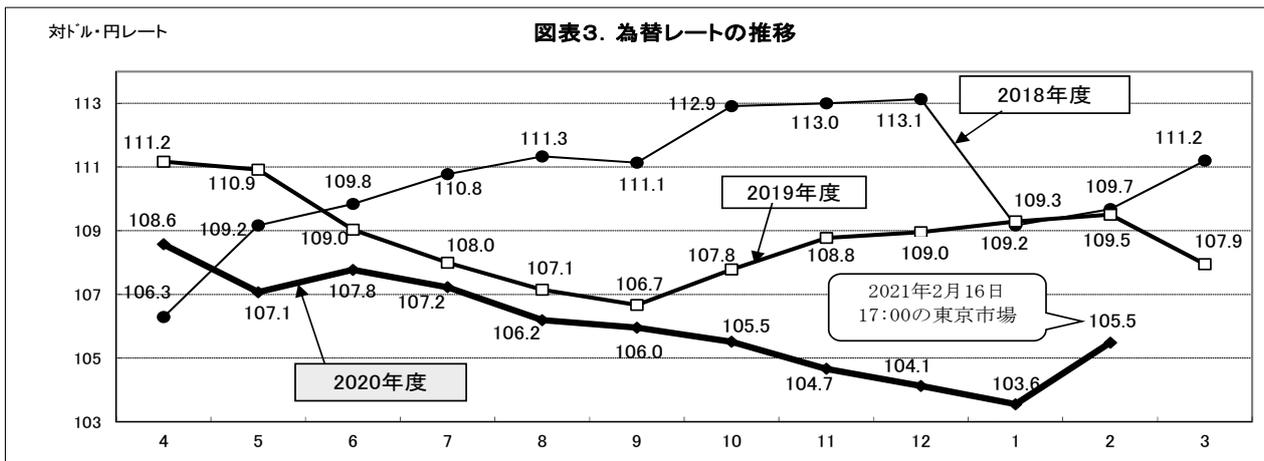


(2) 為替・営業日動向～12月は1.9%の減少要因、1月は7.7%の増加要因～

1) 2020年12月は1ドル=104.1円となり、前年に比べ4.4%の円高となった。また、対ユーロは125.1円と前年に対して3.8%の円安となり、合わせて約1.9%の為替減少要因となった。営業日は前年と同じため、合計で約1.9%の減少要因となる。12月の輸出額は0.8%増であったことから、実質的伸び率は2.8%増と2ヶ月連続で前年同月比増加となった(11月3.9%増)。

2) 2021年1月は1ドル=103.6円で前年比5.3%の円高、対ユーロは126.5円で前年比3.9%の円安となり、合わせて約2.3%の為替減少要因となった。営業日は前年と同じであるが、中華圏における春節の影響を考慮すると、約10.3%の増加要因となり、合計で約7.7%の増加要因となる。

3) 2021年2月は、対ドルが2月10日17:00時点の105.5円とすれば、前年比3.7%の円高、また、対ユーロは128.0円で6.2%の円安となり、合わせて約1.4%の為替減少要因となる。営業日は前年と同じであるが、中華圏における春節の影響を考慮すると、約9.5%の減少要因となり、合計で約10.8%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～中国、韓国・台湾向けを除き、4地域向けで前年同月比減少～

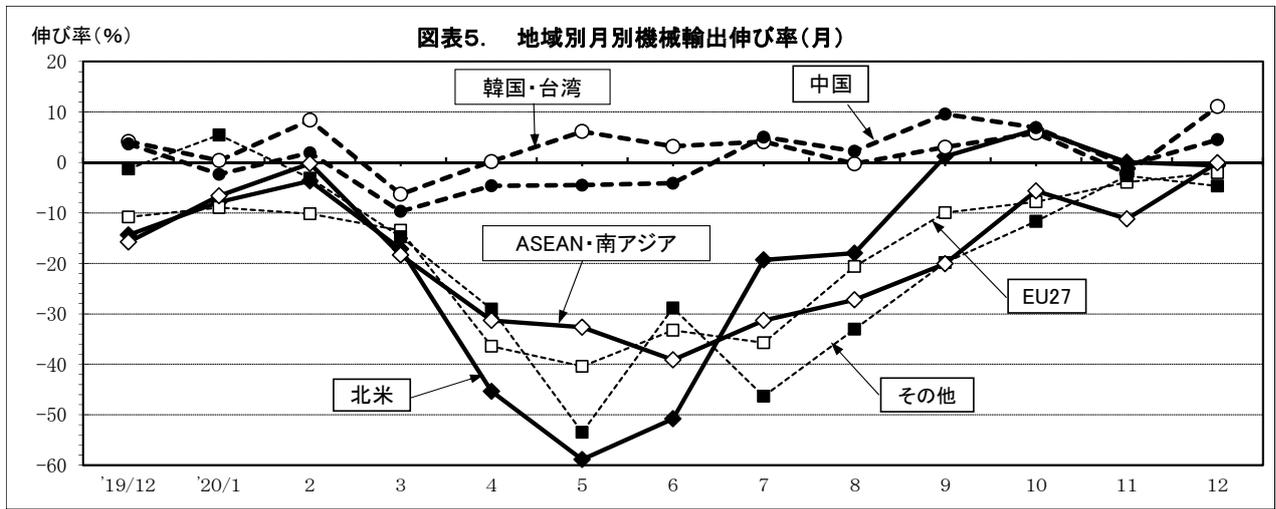
機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の23.7%を占める北米向けでは、52%を占める自動車(4.5%増)等が増加したものの、産業機械(14.2%減)、軽機械(3.3%減)、航空機部品(43.7%減)等が減少し、**0.6%の減少**となった。②10.4%を占めるEU(英国を除く27ヶ国)向けは、産業機械(5.6%増)、理化学用機器等軽機械(1.6%増)等が増加したものの、33%を占める自動車(17.4%減)等が減少して**2.1%の減少**となり、③25.5%を占める中国向けでは、25%を占める産業機械(2.8%増)、17%を占める自動車(4.8%増)、14%の電子デバイス(2.2%増)等が増加して**4.5%増**となった。④11.2%を占める韓国・台湾向けは、半導体製造装置等産業機械(14.1%増)、電子デバイス(7.4%増)、自動車(4.3%増)等が増加して**11.1%増**となり、⑤13.6%のASEAN・南アジア向けは、シンガポール(32.5%増)、マレーシア(9.9%増)、パキスタン(81.9%増)が増加したものの、インドネシア(32.8%減)、フィリピン(8.8%減)、タイ(5.6%減)等が減少し、業種でも電子デバイス(7.6%増)、電気・電子計測器等軽電気機械(5.5%増)が増加したものの、21%の産業機械(8.1%減)、自動車(6.7%減)等が減少して**0.1%の微減**となった。⑥14.0%のその他地域向けでは、大洋州(24.1%増)向け等が増加したものの、中近東(23.0%減)、中南米(8.9%減)向け等が減少し、業種でも産業機械(0.3%増)が増加したものの、62%を占める自動車(5.0%減)、船舶(25.5%減)、軽電気機械(3.0%減)等が減少して**4.7%の減少**となった。⑦12月は、中国、韓国・台湾向けが前年同月比で増加し、EU、ASEAN・南アジア向けにおいて減少率が縮小し、機械輸出全体として前年同月に比べて増加した(26ヶ月ぶり)。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円、%)

	2020/10			2020/11			2020/12		
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア
全世界計	42,073	▲ 0.3	100.0	39,349	▲ 3.0	100.0	42,433	0.8	100.0
北米	10,899	6.5	25.9	10,005	0.04	25.4	10,073	▲ 0.6	23.7
EU (英国を除くEU27)	4,122	▲ 7.8	9.8	3,948	▲ 3.9	10.0	4,409	▲ 2.1	10.4
英国	573	▲ 21.0	1.4	654	▲ 9.6	1.7	678	▲ 18.7	1.6
中国	10,087	6.9	24.0	9,489	▲ 0.6	24.1	10,802	4.5	25.5
韓国・台湾	4,209	5.8	10.0	4,032	▲ 2.2	10.2	4,750	11.1	11.2
ASEAN・南アジア	5,814	▲ 5.6	13.8	5,381	▲ 11.2	13.7	5,779	▲ 0.1	13.6
その他	6,369	▲ 11.7	15.1	5,840	▲ 2.6	14.8	5,941	▲ 4.7	14.0

は、2ヶ月連続で前年比10%以上増加。

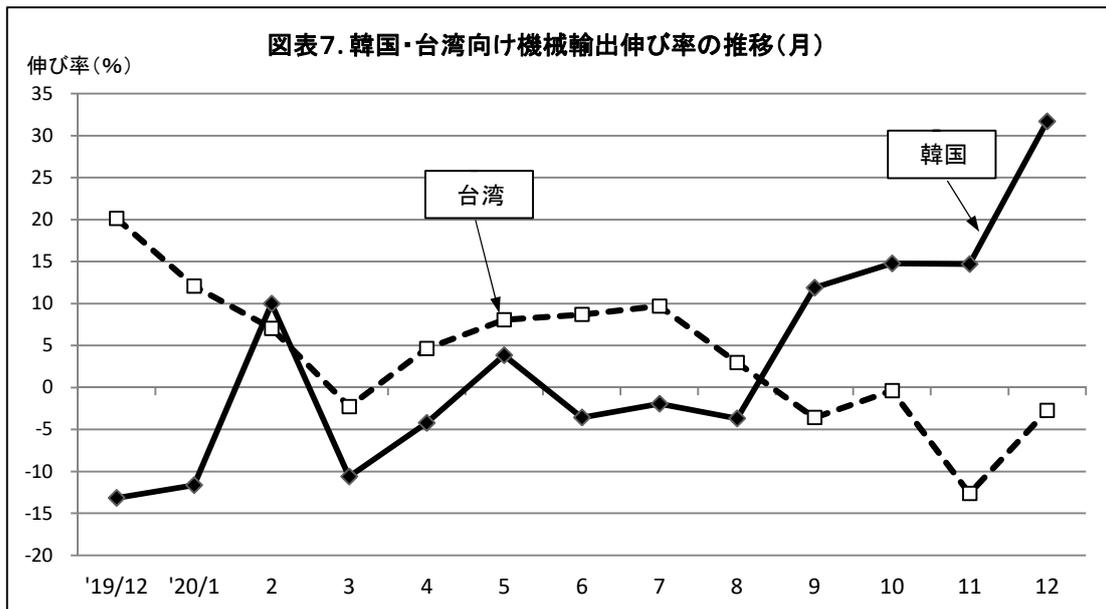


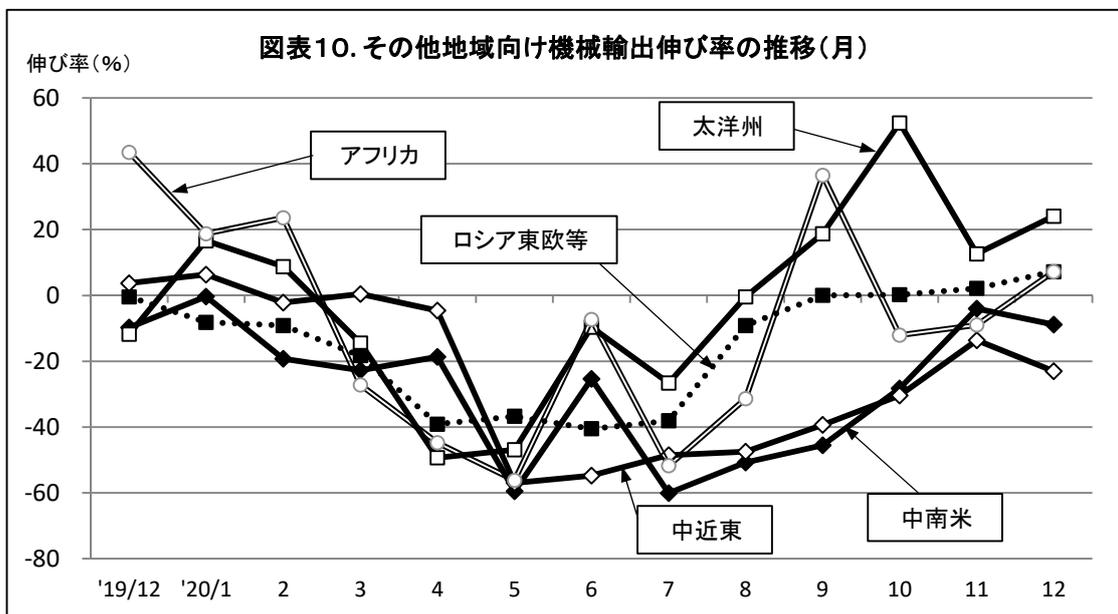
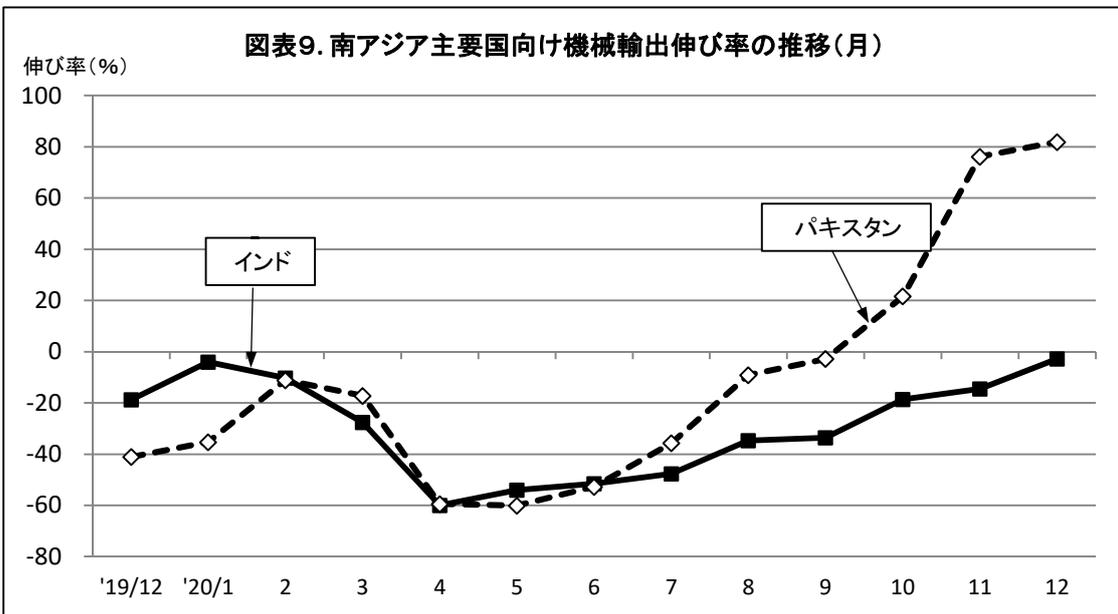
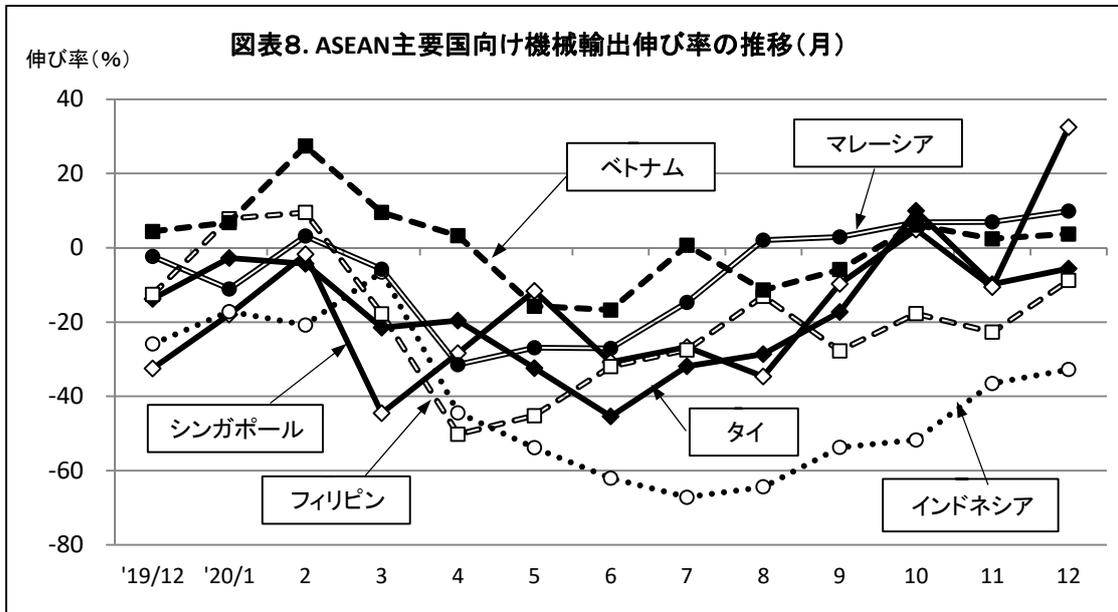
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(単位: 億円、%)

国名	2020/9		2020/10		2020/11		2020/12	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,917	11.9	1,869	14.8	1,807	14.7	2,256	31.7
台湾	2,218	▲ 3.6	2,339	▲ 0.4	2,224	▲ 12.6	2,494	▲ 2.7
ASEAN・南アジア								
タイ	1,350	▲ 17.3	1,744	10.0	1,476	▲ 9.8	1,519	▲ 5.6
シンガポール	781	▲ 9.7	918	4.9	851	▲ 10.6	1,009	32.5
インドネシア	403	▲ 53.7	374	▲ 51.7	425	▲ 36.5	449	▲ 32.8
マレーシア	650	3.0	709	6.9	688	7.0	702	9.9
フィリピン	510	▲ 27.7	541	▲ 17.7	510	▲ 22.7	510	▲ 8.8
ベトナム	843	▲ 5.9	942	6.1	841	2.4	851	3.7
インド	356	▲ 33.6	379	▲ 18.6	363	▲ 14.5	458	▲ 2.8
パキスタン	71	▲ 2.9	71	21.6	94	76.1	133	81.9
その他地域								
中南米	1,265	▲ 45.5	1,761	▲ 28.3	1,587	▲ 4.1	1,635	▲ 8.9
中近東	1,108	▲ 39.3	1,322	▲ 30.4	1,521	▲ 13.6	1,482	▲ 23.0
大洋州	1,299	18.8	1,659	52.4	1,240	12.7	1,190	24.1
ロシア東欧等	1,176	0.0	1,162	0.2	980	2.2	1,112	7.3
アフリカ	714	36.6	588	▲ 12.1	546	▲ 9.0	701	7.2

▲は、2ヶ月連続で前年同月比増加(10%以上)





(4)業種別動向～21業種中13業種が前年同月比で増加、そのうち6業種が二桁の増加～

1)業種別では、電子デバイス(5.1%増)をはじめ、13業種が前年同月比で増加し(11月は8業種が増加)、そのうち軽電気機械(11.3%増)、船舶(11.5%増)、建設機械(25.6%増)等6業種が二桁の増加であった。機械全体では0.8%の増加となった。

2)前年同月比で減少した8業種のうち、二桁の減少となったのは、工作機械(14.4%減)、航空機部品(47.8%減)の2業種(10月は2業種)となり、一桁以下の減少にとどまったのは、自動車(2.6%減)、産業機械(0.03%減)はじめ6業種であった。

図表11 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2020/10				2020/11				2020/12			
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア
自動車	15,207	2.7	36.1	自動車	14,280	▲ 3.4	36.3	自動車	14,175	▲ 2.6	33.4
産業機械	7,371	1.9	17.5	産業機械	7,039	▲ 1.5	17.9	産業機械	8,318	▲ 0.03	19.6
電子デバイス	3,728	▲ 2.7	8.9	電子デバイス	3,403	▲ 3.7	8.6	電子デバイス	3,659	5.1	8.6
軽電気機械	2,837	14.0	6.7	軽電気機械	2,580	6.4	6.6	軽電気機械	2,818	11.3	6.6
重電気機械	2,227	6.1	5.3	重電気機械	2,077	6.0	5.3	重電気機械	2,362	8.8	5.6
軽機械	1,663	▲ 0.7	4.0	軽機械	1,537	▲ 6.9	3.9	軽機械	1,744	1.8	4.1
民生用電子機械	1,560	11.2	3.7	民生用電子機械	1,526	8.0	3.9	民生用電子機械	1,570	6.7	3.7
船舶	1,290	▲ 29.1	3.1	船舶	1,072	▲ 4.2	2.7	光学機械	1,233	▲ 8.3	2.9
光学機械	1,138	▲ 2.1	2.7	光学機械	1,019	▲ 16.7	2.6	船舶	1,081	11.5	2.5
建設機械	953	▲ 16.0	2.3	建設機械	918	25.1	2.3	建設機械	1,081	25.6	2.5
医療機械	528	5.9	1.3	医療機械	545	▲ 4.4	1.4	医療機械	613	4.4	1.4
工作機械	490	▲ 18.1	1.2	工作機械	486	▲ 22.3	1.2	工作機械	561	▲ 14.4	1.3
航空機部品	453	▲ 43.6	1.1	航空機部品	424	▲ 42.2	1.1	陸用内燃機関	473	19.2	1.1
通信機械	430	▲ 6.4	1.0	通信機械	419	▲ 9.5	1.1	通信機械	430	▲ 8.3	1.0
電子計算機	403	4.6	1.0	電子計算機	416	0.3	1.1	電子計算機	418	▲ 3.8	1.0
陸用内燃機関	389	7.0	0.9	陸用内燃機関	374	2.6	0.9	ベアリング	397	3.7	0.9
ベアリング	341	▲ 13.6	0.8	ベアリング	314	▲ 18.7	0.8	航空機部品	367	▲ 47.8	0.9
農業機械	207	4.8	0.5	農業機械	216	4.2	0.5	農業機械	217	8.3	0.5
繊維機械	155	▲ 17.5	0.4	繊維機械	128	▲ 30.6	0.3	繊維機械	160	▲ 9.8	0.4
産業車両	100	▲ 12.2	0.2	産業車両	92	24.0	0.2	産業車両	95	12.7	0.2
鉄道車両	63	37.3	0.2	鉄道車両	13	▲ 58.6	0.0	鉄道車両	74	123.9	0.2
21業種合計	41,534		98.7	21業種合計	38,878		98.8	21業種合計	41,847		98.6

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～鉄道車両、産業用ロボット等が大幅増加、航空機部品、発電機等が大幅減少～

1)10%以上の伸び率を示した機種のうち上位10機種は、①その他地域(主としてカタール)向け**鉄道車両**(2.2倍)、②中国、北米向け**産業用ロボット**(29.9%増)、③北米、その他地域、EU向け**建設機械**(25.6%増)、④EU、北米、中国向け**写真機の部分品・附属品**(23.6%増)、⑤中国、ASEAN・南アジア向け**その他の重電気機器・部分品**(21.6%増)、⑥中国、韓国・台湾向け**電気・電子計測器**(20.5%増)、⑦中国・北米向け**陸用内燃機関**(19.2%増)、⑧北米、中国、EU向け**電動機**(17.2%増)、⑨その他地域(主としてオーストラリア、サウジアラビア、UAE)向け**貨物自動車**(16.7%増)、⑩北米、中国向け**電池**(14.1%増)であった。

2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、航空機部品(47.8%減)、発電機(43.2%減)、原動力機械(37.0%減)、金属加工機械(35.5%減)等であった。

図表12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2020/10			2020/11			2020/12		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車両	63	37.3	建設機械	918	25.1	鉄道車両	74	123.8
原動力機械	373	24.9	産業用ロボット	165	25.1	産業用ロボット	183	29.9
電気・電子計測器	517	24.0	原動力機械	360	24.1	建設機械	1,081	25.6
電池	665	22.2	産業車両	92	24.0	写真機の部分品・附属品	96	23.6
デジカメ・ビデオ	318	21.2	通信機械部分品	159	21.8	その他の重電気機器・部分品	539	21.6
電動機	237	14.6	電動機	226	21.2	電気・電子計測器	556	20.5
コンデンサー等部分品	1,000	14.2	白物家電	310	17.1	陸用内燃機関	473	19.2
白物家電	322	13.8	コンデンサー等部分品	948	11.2	電動機	251	17.2
通信機械部分品	158	13.6	電池	570	10.8	貨物自動車	709	16.7
その他の重電気機器・部分品	492	13.3	デジカメ・ビデオ	320	10.1	電池	612	14.1
機種合計	4,145	* 9.9%	機種合計	4,069	* 10.3%	機種合計	4,574	* 10.8%

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部分品:ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信機器:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

図表13. 減少率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位: 億円、%)

2020/10			2020/11			2020/12		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
航空機部品	453	▲ 43.6	鉄道車両	13	▲ 58.6	航空機部品	367	▲ 47.8
金属加工機械	202	▲ 29.3	航空機部品	424	▲ 42.2	発電機	41	▲ 43.2
船舶	1,290	▲ 29.1	繊維機械	128	▲ 30.6	原動力機械	310	▲ 37.0
受信変換その他送受信機器	87	▲ 23.1	工作機械	486	▲ 22.3	金属加工機械	212	▲ 35.5
工作機械	490	▲ 18.1	ベアリング	314	▲ 18.7	時計	75	▲ 19.8
繊維機械	155	▲ 17.5	金属加工機械	191	▲ 18.5	工作機械	561	▲ 14.4
時計	72	▲ 16.6	その他の光学機器	850	▲ 17.9	受信変換その他送受信機器	99	▲ 12.0
建設機械	953	▲ 16.0	携帯電話	17	▲ 15.2	その他の光学機器	1,049	▲ 11.7
発電機	58	▲ 14.1	受信変換その他送受信機器	95	▲ 14.1	機種合計	2,714	* 6.4%
磁気カード・ディスク等	98	▲ 13.7	時計	76	▲ 11.7			
機種合計	3,858	* 9.2%	機種合計	2,594	* 6.6%			

は、2ヶ月連続で減少率上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～上位12機種のうち電子計算機をはじめ7機種が前年同月比で増加～

- 1) 12月の機械輸入伸び率は2.9%減と2ヶ月ぶりに対前年同月比で減少した。上位12機種のうち電子計算機(7.5%増)、携帯電話(11.2%増)、乗用車(6.5%増)等7機種が前年同月に比べて増加し(11月は9機種が前年同月比で増加)、そのうち携帯電話、受信変換その他送受信機器(14.6%増)、半導体製造装置(2.7倍)の3機種が二桁以上の増加であった。減少したのは、電子デバイス(6.2%減)、航空機・部品等(47.7%減)、自動車部品(7.3%減)をはじめ5機種であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、携帯電話、航空機・部品等、受信変換その他送受信機器、白物家電、医療機械、配電機器、TV、時計、通信機械部分品の10機種となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、金額順に全体の41%を占める中国(4.6%増)、ASEAN・南アジア(6.8%増)、EU(0.4%増)、韓国・台湾(2.2%減)、北米(33.0%減)、その他地域(3.7%減)であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位: 億円、%)

2020/10				2020/11				2020/12			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,219	▲ 3.0	11.0	携帯電話	2,813	67.7	13.1	電子計算機	2,234	7.5	10.6
電子計算機	2,094	7.1	10.4	電子計算機	2,236	12.3	10.4	電子デバイス	2,061	▲ 6.2	9.8
携帯電話	1,866	▲ 14.2	9.3	電子デバイス	2,078	4.3	9.7	携帯電話	1,755	11.2	8.3
乗用車	940	▲ 9.4	4.7	自動車部品	971	▲ 11.4	4.5	乗用車	1,362	6.5	6.5
自動車部品	940	▲ 14.9	4.7	乗用車	897	▲ 25.3	4.2	航空機・部品等	992	▲ 47.7	4.7
受信変換その他送受信	803	17.3	4.0	白物家電	815	10.1	3.8	自動車部品	913	▲ 7.3	4.3
白物家電	724	8.1	3.6	受信変換その他送受信	804	14.2	3.7	受信変換その他送受信	771	14.6	3.7
医療機械	663	▲ 10.8	3.3	医療機械	699	2.0	3.3	白物家電	749	8.9	3.5
配電機器	610	2.5	3.0	航空機・部品等	668	▲ 34.9	3.1	医療機械	658	▲ 3.7	3.1
航空機・部品等	570	▲ 63.6	2.8	配電機器	662	10.6	3.1	配電機器	603	4.2	2.9
コンデンサー等部分品	473	14.8	2.4	コンデンサー等部分品	482	17.3	2.2	半導体製造装置	492	174.3	2.3
半導体製造装置	449	35.9	2.2	その他の配電制御装置	383	5.8	1.8	コンデンサー等部分品	418	▲ 3.1	2.0
12機種合計	12,351		61.5	12機種合計	13,508		62.9	12機種合計	13,008		61.6

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。

・受信変換その他送受信機器: ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置: スイッチ、配電盤、制御盤等